



自治会だより

2014
新春号

～挨拶と花と緑の明るいニュータウン～
安全で安心して暮らせる街づくりを実現しよう！
守ろう！住環境維持のルールとペットマナー



白岡ニュータウンのみなさま。
あけましておめでとうござい
ます。年の初めに会員のみなさま、
ご家族のご健康、ご多幸を心から
お祈り申し上げます。
会長就任以来「住みよいニュー
タウン、安心安全のまち」を目指
して役員一同努力してきました。
新しい年はさらに「災害に強い自
治会」を目標に進めてゆきたいと
思います。
地震や津波、それに原発事故と
いう想定外の災害、身近なこと
は「竜巻」の被害も忘れることが
できません。そこで、今年は「災
害弱者救援元年」と位置付けたい
と思います。
昨年暮れに寄せていただいた
「防災調査票」には、977世帯
から回答を受け、37名の方から災

新年のご挨拶

自治会長 浅井嘉一

害時の避難で、「ぜひ援護してほ
しい」という切実な声が寄せられ
ています。いつ襲うかわからない
自然災害に、どうしたら立ち向か
うことができるか？ 住民みんな
の問題として考えていきたいと思
います。
現在20名の有志で組織された災
害時要援護者支援対策委員会
は、毎月会合をかさねて支援の具
体的方法やシステムの構築などの
検討をしています。
災害時だけではありません。日
頃の会話やお付き合いを通じて、
互いの気配りや見守りの精神を肝
に銘じ、「備えあれば…」と「向
こう三軒両隣」という先人たちの
教訓を現代風にかみしめる年にし
たいと思います。

青空市報告

青空市報告

事業部長 長澤敏広

去る12月1日、澄みきった
冬空のもと、青空市&餅つき
大会が開催されました。

さくら公園と三丁目集会所
(サウスプラザ)を会場として
行われ、〈杵つき餅の実演販
売〉、〈信州直送の蜜入りりん
ごの販売〉を中心に、お正月
用のお花や苗の販売、フリー
マーケット、クリスマスリー
ス作りと盛りだくさんのコー
ナーで賑わいました。

二日前から仕込んだ甘酒の
無料提供も大好評で、冬空なれ
ど小春日和の陽射しの中、おな
かもホットして貰えた様です。

反省点も有りました。

・昨年より数量を増やして準
備した、蜜入りりんごが一
時間もたずに完売、お並び
頂いた一部のお客様に行き

渡らなかつたこと。

・杵つき餅の大きさに一部不
揃いとしつきムラが見うけら
れた等です。

これらの点については来年
度の課題となりました。

とは言うものの、全体的には
運営・進行ともにスムーズに、
事故なく終了する事が出来ま
した。改めましてご来場の皆
様、朝早くからお手伝い頂い
た各各班長のみなさんおよび
役員や関係各位に心より御礼
申し上げます。

最後に、青空市が8月の夏祭
りと同様に、会員各位にとつ
て明るく・楽しいコミュニケ
ーションの場として、今後益々
の活況を呈して参ります事
をご祈念致します。



りんごが足りず申し訳ありませんでした



大勢参加いただきありがとうございました



ひとりでもできたよ…



おかあさんがサポート

青空市アルバム



餅にあんこやきな粉をまぶしているところ



販売を待つ餅



完成しました



クリスマスリースを真剣に作る子供たち



フリーマーケット



フリーマーケット



人気のシフォンケーキ



花や苗の販売

認知症サポーター養成講座・災害時要援護者救済対策検討委員会からの報告

認知症サポーター
養成講座に参加して

総務部副部長 皆木博文

昨年10月19日（土）、2丁目集会所に白岡市高齢介護課樋熊様を迎えて認知症サポーター養成講座を開催しました。

30代～70代の年代から18名の方が参加しました。

本講座は厚労省の認知症サポーター百万人キャラバン運動の一環で、既に埼玉県は12万人、白岡市には千人のサポーターが存在します。

認知症とは様々な原因で脳細胞が死滅、または機能悪化により障害が出て、生活に支障が出ている状態（約6カ月以上継続）です。現在85歳以上では4人に1人が発症、今後20年で倍増すると予想されているそうです。

サポーターの役割は認知症

を正しく理解し、認知症の人と家族を温かい目で見守ること、それぞれの暮らしの場でのサポートに心がけることだそうです。一番印象に残ったのは「認知症の方の自尊心を傷けないことが大切です」とのことでした。



「災害時要援護者
救済対策検討委員
会」からの報告

委員長 折本勉

「災害時要援護者救済対策検討委員会」は5月25日から12月15日にかけて7回の委員会を開催してきました。

その間、皆様には11月中旬に提出をしていただきました「防災調査票」のデータを現在集計しているところです。12月10日現在977通回収ができました。全体で1368戸なので約72%になります。ご協力ありがとうございました。

またこの委員会の趣旨については、10月1日付の回覧版で説明していただきますので省略させていただきます。



植樹会報告・年末クリーン運動

植樹会報告

植樹部副部長 野呂典子

植樹部の主な活動は遊歩道
植木の枯れ木の除去や補植、肥
料蒔き、除草等など年間通し
で行っています。

今年度最初の活動として、4
月に白岡東小学校周辺で除草
を実施しました。

苗木補植（植樹会）は、こ
れまで春、秋の年2回でした
が、昨年度は春に植えた苗が、
その年夏の連続猛暑により全
滅した事を教訓に、今年度は
秋1回に変更し6月からその
準備に入りました。具体的に
は、補植に向け事前に植え込
み用穴を掘っておく作業です。
220本分もあり我々植樹部
員だけでは手が足りないため、
多くの皆様のご協力を得て9
月下旬に完了しました。

植樹会は、予定日の10月5

日が生憎の雨で翌週12日に変
更となったにも関わらず、多
数のボランティアの方々にご
参加いただき、無事植え付けを
終了させることができました。

その後は、苗木がしっかり
と定着し成長して、見事な花
が咲く姿を思い巡らせながら、
水やり等育成の管理を地道に
続けていきます。

春には緑豊かな葉が茂り、皆
様の目を和ませ、遊歩道の散
策を楽しませてくれる事を期
待しています。

これまでボランティアの皆
様を初め、ご協力頂いた方々
に心から御礼申し上げます。

なお、苗木は当自治会が白
岡市の「道路の里親」制度に、
加入しているため、本年度は
無償で支給されました。



12月14日、初冬の穏やかな天
候に恵まれ、「年末クリーン運
動」が行われました。150名
を越す参加者のご奮闘により、
7か所の公園と幹線道路の落
ち葉をきれいに片づけること
ができました。ありがとうございました。

また、11月初旬から、公園
や街路樹の落ち葉を連日清掃
して頂きましたご近所のみな
さまや「花と緑の会」の方々
に感謝申し上げます。

きれいな街並みを引き続き
保つためにも、今後ともご協
力よろしくお願いいたします。

年末クリーン運動

環境部副部長 亀井俊夫

空き巣対策講習会報告・歳末警戒パトロールを振り返って

空き巣対策

講習会報告

保安部長 飯塚 牧三

11月16日「空き巣対策講習会」が開催され、35名の方が参加されました。講師には埼玉県利根地域振興センターの山内課長にお願いし、白岡市内の被害状況について話して頂きました。今年発生している空き巣（住宅侵入）の手口、自転車の盗難、振り込め詐欺といった犯罪状況の詳細などです。

講義内容を要約しますと、犯罪の多くは私たちの日常生活の場で発生しているということです。被害の防止について共通して言えることは、犯罪の視点から見直すことが重要であり、近隣住民との連携を密にすることで、街をきれいにしておくこと、挨拶のできる環境の整備にあります。



「自分は、我が家は大丈夫」といった気持ち捨て、一人ひとりが防犯の意識をしっかりと持ち、近所同士の連携により、犯罪を寄せ付けない街づくりが大切であることを学びあうことができた良い講習会だったと思います。

今後もこのような講習会を開催し、皆さんが安心して住める環境整備に保安部が一丸となって取り組んでいきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

歳末特別警戒
パトロールを振り返って

保安部長 飯塚 牧三

12月28・29日に「歳末特別警戒パトロール」が行われ、2日間で延べ161名（含子供26名）の皆様に参加して頂き感謝申し上げます。今回は新白岡駅前交番勤務の警察官二人にも加わって頂きました。子どもは4歳から6年生と幅広く、今後の自治会活動につけて頼もしい存在です。

例年、安全対策として「空き巣対策講習会」や「防犯パトロール」を行っていますが、昨年空き巣が2件、ひったくり事件が1件発生してしまいました。歩行中の携帯電話やスマートフォン操作は無防備となり事件や事故を引き起こす要因にもなります。安全な生活に慣れ親しんだ私たちは犯罪が潜んでいるという自覚



が薄れてきているように感じます。久喜警察署や駅前交番勤務署員の方に警戒体制の強化をお願いしていますが、大切なことは安全対策を怠らないことだと考えます。

私たち保安部は笑顔と会話がこだまする街づくりに取り組んでいます。しかし、「私たちの街は自分たちで守る」といった強い信念があつてこそ気づくことができることです。皆さんのご理解とご協力をお願いいたします。

ヴァチカンで歌う

ヴァチカンで歌う

ニュータウン在住

清水 由美子

河野 敬子

昨年3月下旬に正式にヴァチカン国際音楽祭より、指揮者の西本智実さんに招聘状が送られました。アジアのオーケストラと合唱団では史上初めての出演だそうです。

私

たちは幸運にも書類審査を通過して、イルミナート合唱団員として参加できることになりました。全国各地から集まった総勢300名の合唱団員は、東京、大阪で練習を開始し、11月1日には東京オペラシテイコンサートホールで壮行演奏会も開かれました。

いよいよ演奏会の日、秋晴れのローマの空の下、2013年11月9日サン・ピエトロ大聖堂にて、グノーの「聖チェチーリア壮厳ミサ曲」、「オラシヨ」(宣教師によって長崎県

生月島に伝えられた祈りの歌が約450年ぶりに復元演奏)を歌い、続く10日には、サン・パオロ大聖堂にて、ベートーヴェンの「交響曲第九番(合唱付)」を歌いました。私たちは重厚で壮厳な大聖堂の中で厳粛な気持ちで臨みました。十分に練習を重ねてきたものの、改めて事の重大さに責任を感じ緊張しました。西本さんの創りあげた音楽の世界に全員心が一つに溶込み、責任感と此の上無い感動を味わいました。

西本さんは「指揮者人生で何物にも代え難い貴重な体験だった」と力強く語っていました。私たちも夢のような貴重な体験をさせていただき、とても幸せでした。



サン・パオロ大聖堂 - 第九演奏の様子



合唱団の方々と



サン・ピエトロ大聖堂



NHKスタッフ
番組作成のための取材



サン・ピエトロ大聖堂 - 演奏の様子



サン・パオロ大聖堂

有線放送受信不具合・ごみ置き場修理・街路灯設置報告

白岡ニュータウン自治会
自治会だより

2014年新春号

2014年1月30日発行

(年3回発行)

発行・白岡ニュータウン自治会

制作・広報部

有線放送

受信不具合

副会長 村尾 斉一郎

白岡ニュータウンは、開発当時東京電力(株)の高圧電線設備の通線がされていて、電波障害地域でした。そこで、開発業者である総合地所(株)は、東京電力(株)に対しこの地域も障害指定にするための交渉を申し込みましたが断られたため、独自の有線放送設備を施工し、各家庭でアンテナ不要でTV放送を受信できるようにし、現在に至っています。

今回通信放送変更に伴い、アナログ放送設備をデジタル放送設備に切り替えました。その際東京MX放送は、東京タワーから送信していた時より東京スカイツリータワーから送信するときのほうが割り当て局数は少なくなりました。しかし、減少した局数の撤去

をせずに送信したことにより、その残りの局にて雑電波を生じさせ、自治会の受信設備側で混信を起こしてしまいました。それが8月以降発生したMX TV受信不良です。そのため、まずは、MX TVは映らなくして有線放送施工会社であるテレコム通信工業(株)に抜本対策を検討させました。千葉TVも同様です。

最終的には受信装置にフィルターをかけることで対策をとりましたが、そこに至るまで原因究明に時間がかかり、数か月にわたりニュータウンの皆様方には多大なご迷惑をお掛けすることになりました。ここに深くお詫び申し上げます。今後は通信会社との打ち合わせを密に取り、二度と不具合が出ないよう努めていきたいと思います。



ごみ置き場修理・街路灯設置報告

広報部副部長 藤田 大祐

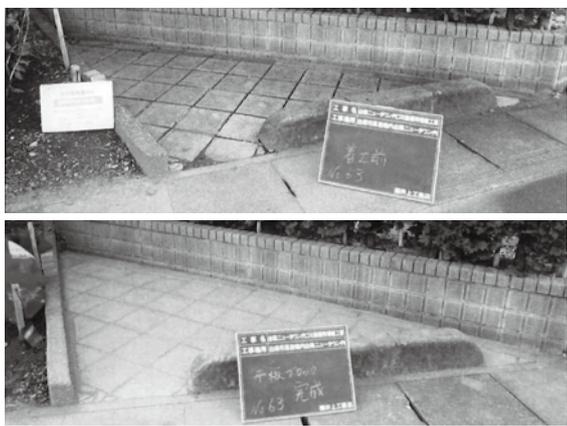
自治会では、古くなってしまった設備の修理補修などを実施しています。

ごみ置き場はタイルや目地割れ等が目立った4か所に対して、タイルの交換と目地の打ち直しを行いました。

No15、No31、No42、No63

修理前 (No63)

修理後



街路灯は、市に申請を行った6か所(1〜3丁目各2ヶ所)が新規に設置されました。



お近くの設備で故障や老朽化の激しいものがありましたら、自治会事務局までご連絡下さい。

編集後記

本号ではニュータウンにお住いの方から「ヴァチカンで歌う」という体験記事を寄稿いただきました。普通の人ではなかなか経験できない内容で、素晴らしいですね。ありがとうございました。

(山浩)